



2023・2・11

松戸市立小金小学校
創立150周年

Connection

Vol.10

創立150周年を迎える
小金小学校が
コミュニティ・スクールになりました

私の逸話も
紹介されます

今回の Connection

小金小学校の紹介
会長、副会長の思い
校長先生へのインタビュー
これからの学校と地域のあり方
小金小学校と地域・家庭とが連携した教育活動の一例

Connection とは…

市内の小中学校では、保護者や地域の方々が様々な形で学校を「支援」する取り組みが行われています。そのような支援の理解を深め、広げることを目的として、情報誌「Connection」を平成28年度から発行しています。各学校における、支援活動の充実や拡大の一助となればと考えています。

小金小学校がコミュニティ・スクールになりました！

今回の「Connection」では、
松戸市立 **小金小学校** の
学校運営協議会 を紹介します。



今年度、小金小学校に学校運営協議会が設置され、文部科学省が推奨する形態による「コミュニティ・スクール」が松戸市に初めて誕生しました。小金小学校では、これまで地域とともに作り上げてきた教育活動をさらに深めていくとともに、学校と地域と一緒に子どもたちを育てていくという考えのもと、地域全体で共通の目標を持って、子どもたちの学びと成長を支えていきます。

令和4年度 学校運営協議会の歩み



- 第1回 令和4年度学校運営基本方針の説明
- 第2回 授業参観、避難訓練参観
- 第3回 給食試食、意見交換
- 第4回 学校行事の参観（小金っ子まつり）
- 第5回 令和4年度学校運営の評価、令和5年度学校運営基本方針の承認

松戸市立小金小学校の紹介



明治6年2月に設立した 創立 150周年 の小学校です。
創立 150周年という大きな節目を迎えるにあたり、令和4年7月に
「松戸市立小金小学校創立 150周年記念事業実行委員会」が発足し、
校門リニューアル、校旗リニューアル、記念式典、記念誌など
様々なプロジェクトを立ち上げ、お祝いの準備をしています。

地域で大切にしてきた二宮金次郎像



戦時中の日本では、武器を生産するために金属が必要でした。
そのため、街にある金属製品を国が回収していました。

小金小学校の二宮金次郎像もその対象でしたが、鉄砲の球にすることは忍びないということで、地域の人たちが土中に埋めて隠し難を逃れたとの逸話がある、地域で大切にしてきた銅像です。

小金小学校の校門脇の
ひまらや杉から生まれた妖精
「こがねこ」です！
小金小学校の児童がデザイン
しました。



よろしくお願いニャ

上野会長と山口副会長に思いを伺いました

小金小学校学校運営協議会 上野会長

学校運営協議会の文部科学省型が初めて松戸市の小学校で導入されてその会長になったのは大変な重責を感じています。

児童の皆さんが自律的に学習できること、教師の皆さんが教える力を十分に発揮できること、家庭や地域がまちづくりの目標の中でどこまで変わるのかこれを中心に議論をしていきたいと考えています。みんな難しいことばかりです。

全く何をどうするのか暗中模索の状態ですが、それでも現状をよく見て皆で話し合い前に進みたいと考えています。

小金小学校学校運営協議会 山口副会長

子どもたちが小金小在学中に PTA 本部役員、卒業後は学校評議員を務めさせていただきました。地域とつながる活動が特色の小金小で、様々な人と関わり、親子でわくわくする体験を沢山させていただきました。この“わくわく”こそが、子どもたちの想像力や行動力、思いやりの心を育む“学びの原動力”だと思います。

学校運営協議会では、学校が目指す子どもたちの姿を地域で共有し、協働し合いながら、小金っ子の“わくわく”体験を応援していきたいと思っています。

小金小学校学校運営協議会委員

- 地域住民 ● 保護者代表 ● 近隣の幼稚園・保育所代表
- 近隣中学校の代表 ● 小金小学校職員 など

「コミュニティ・スクール」とは、学校と地域が目標を共有し、一体となって子どもたちを育むため、学校職員と地域住民等で委員を構成した「学校運営協議会」を設置した学校のことです。「学校運営協議会」では、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議します。

会議の様子



小金小学校 西郡校長先生にお話を伺いました

● コミュニティ・スクールになった経緯

本校はこれまでも松戸版コミュニティ・スクール研究校として取り組んできた経緯があります。それは本校が地域に根ざした学校として長年愛されてきたからだと思います。実際、本校の特色ある教育活動の「小金わくわく探検隊」「はなこがね」は『小金の街をよくする会』の多大なる協力のもとで行われています。「ふれあい花壇」も『小金地区社会福祉協議会』の方々と一緒に取り組んでいるものです。ですから、現在のこうした教育活動は、熱心にお力をいただいている地域の方々のご協力あってのものなのです。

私が教員として在職していた約 20 年前、学校創立 130 周年を迎えた頃、こうした活動が始まりました。かつて、小金町の小学校だった本校は、地域にとってそれは大切な学校でした。その意識が段々と弱まっていったように感じられたタイミングで学校創立 130 周年を迎え、かつての小金の街の学校であることを再認識するような取り組みが始まったのです。そして、このような教育活動は 20 年以上脈々と続けられてきています。そのすべてが、小金の街に愛着がもてるようにと取り組まれてきたものです。

このように、地域に親しまれている中でしっかりと子どもたちを育てていこうという思いと、創立 150 周年を迎えるタイミングで、もう一度、地域の中でのこれからの学校のあり方を考えていくため、学校運営協議会を設置したいと考えました。この学校運営協議会を通して地域の中での新たな学校のあり方を模索していきたいと考えています。

● コミュニティ・スクールになるまでの準備

他市ではすでに学校運営協議会が設置されている状況でしたが、松戸市では文部科学省が推奨する形態によるコミュニティ・スクールはありませんでした。ですから、これまでに取り組んできた松戸版コミュニティ・スクールの研究と、これから取り組んでいこうとするコミュニティ・スクールと、どういった差異があるのかを検討しました。松戸市に、

そして小金にふさわしいコミュニティ・スクールとはどういうものなのかを考えなくてはならないと思いました。

また、コミュニティ・スクールは地域にとってどのような存在になることをめざしているのか、どのような方々に委員をお願いすればよいのかなど、教育委員会とともに 1 年間程度の準備検討期間を使い、本年 5 月に委員の委嘱を行い 1 回目の話し合いの場を持ちスタートしました。

● コミュニティ・スクールになってから

地域のいろいろな立場の方々に参加していただき、今の学校について知っていただくことができ、よかったです。現在の学校が抱えている課題や子どもたちを取り巻く諸問題についても現状を見ていただくことで、意識を共有する場となったことが大きな意義だと思います。それぞれの問題はすぐに解決できるようなものではないのですが、誰もが通った学校の現在おかれている状況を知っていただき、地域や家庭、職員の間で子どもたちをどのように育てていけばよいのか、考えていく場となりつつあるのが嬉しいです。

● コミュニティ・スクールのこれから

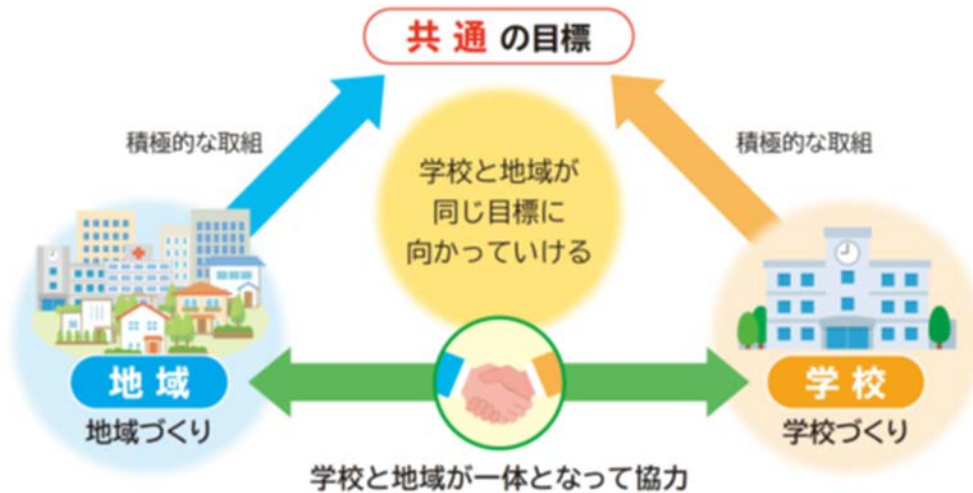
委員の委嘱期間は 2 年間ですが、委員を固定することなく、これからもいろいろな方々にかかわっていただき、様々な視点から忌憚のないご意見をいただければありがたいです。

多くの方々に小金小学校の教育活動を知っていただくことで、ご指導やご鞭撻、ご助言をいただければ、必ず新しい時代を生きる子どもたちにとっての学校を構築していく原動力になると思うのです。

まだまだ手探り状態ですが、小金小学校のコミュニティ・スクールがこれからも長く続いていくこと、小金小学校がコミュニティ・スクールとなったことをきっかけとして、松戸市内の他の学校でもコミュニティ・スクールが始まるとよいと思っています。そのためにも頑張っていかなければと思っています。

これからの学校と地域のあり方

学習指導要領にあるように「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会とが共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが必要とされています。



(出典) 文部科学省「これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」

小金小学校と地域・家庭とが連携した教育活動の一例

● 地域を学ぶ「わくわく探検隊」

児童が校外に出て、小金の歴史や自然、また地域で働く人などについて、体験を通じて学びます。学習の成果を下級生に発表することで、学びの好循環を生んでいます。



● 保護者によるキャリア教育

保護者が教壇に立ち、自らの仕事を題材に、それぞれの職業観を児童に伝えています。働くことや職業への理解を深める機会となっています。



● 近隣の幼稚園・保育園との交流

低学年児童が学校の様子を園児に紹介したり、一緒にレクリエーションをしたりします。異年齢の交流を通して、児童は自信を持ち、園児は小学校入学への期待を膨らませています。



● ふれあい花壇

児童が学校の花壇の手入れを小金地区社会福祉協議会とともにしています。花壇に咲いた花を地域の高齢者施設に届けています。

